

Appleを狙った脅威から エンドポイントを保護

サイバー攻撃を阻止、エンドポイントコンプライアンスを維持、アクティブな脅威を特定し対処する



巧妙さを増した今日のサイバー脅威は、組織のデバイスやインフラに新たなリスクをもたらしています。このような状況においては、汎用的なセキュリティツールでは満足にセキュリティ攻撃の阻止やインシデントの調査・修復を行うことができず、ユーザやデバイス、セキュリティチーム、組織などを危険に晒すことになってしまいます。

そこで登場するのがJamf Protectです。

Jamf Protectは、Macとモバイルデバイスを狙った攻撃を阻止し、デバイスのコンプライアンスを明確に可視化するために作られたエンドポイントセキュリティソリューションです。

職場のAppleデバイスのセキュアな運用に関連するユニークな課題を解決

Jamf Protectは、脅威防御やエンドポイントコンプライアンスの維持、Macやモバイルデバイスを狙ったアクティブな脅威の特定および対応を可能にする機能を組織に提供します。

エンドポイントセキュリティ

Jamf Protectは、Macおよびモバイルを標的としたマルウェアを徹底的に検出し、攻撃から保護するとともに、疑わしいアプリケーションを自動的に検疫し、削除します。

脅威防御と修復

Jamf Protectは、Jamf独自の機械学習エンジンである「MI:RIAM」を使用し、悪意のあるドメインや新種のフィッシング攻撃、クリプトジャッキングなどの脅威からユーザとデバイスを守ります。リスクのあるウェブコンテンツを自動的にブロックし、ユーザが無意識に引き起こすリスクから彼らを守ります。

エンドユーザエクスペリエンス

セキュリティツールは脅威をブロックするだけでなく、UXにできるだけ影響を及ぼさないことが求められます。その点において、Jamf Protectは、最小限のシステムリソースだけを使用して実行されるため、Apple独自のユーザエクスペリエンスを維持することができます。カーネル拡張を使う必要がなく、Appleの最新アップデートの即日サポートも提供しています。

コンプライアンスと可視性

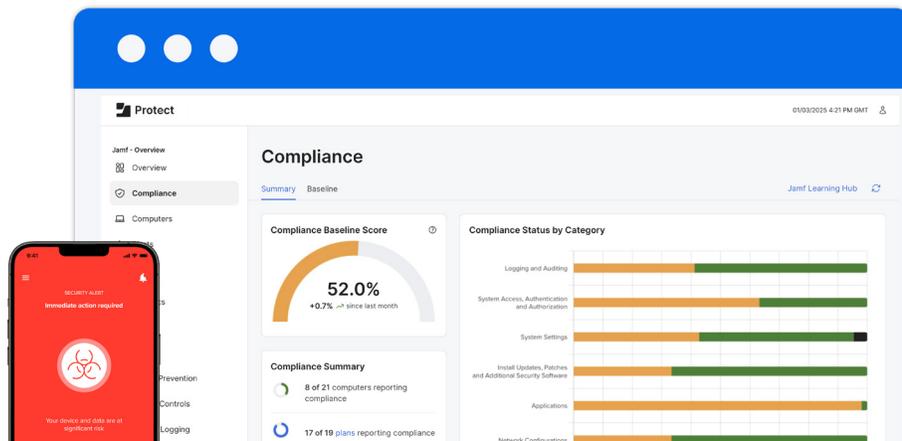
Jamf Protectは、全てのデバイスがコンプライアンスを満たした状態を維持できるよう組織をサポートします。ベンチマークレポートのカスタマイズや豊富なテレメトリデータのログ作成、Center for Internet Security (CIS) に代表される業界ガイドラインに沿った監査などを利用できます。

豊富なエンドポイントテレメトリ

SIEM (セキュリティ情報イベント管理) やSOAR (セキュリティ運用の自動化および効率化) ソリューションとの統合により、Appleに特化したインサイトを送信し、調査および対応能力を強化します。

専用のMacテレメトリ

AppleのエンドポイントセキュリティAPIから取得した忠実度の高いテレメトリをSIEMソリューションにストリーミングすることで、macOSプラットフォームのコンプライアンス監査、脅威検出、調査に適した洞察を提供します。



Jamf Protectは、**Jamf Threat Labs** (未知の脅威を調査するために結成された、経験豊富なデータ科学者および脅威調査やサイバーセキュリティの専門家から構成されるチーム) によってサポートされたソリューションです。



www.jamf.com/ja/

© 2025 Jamf, LLC. All rights reserved.

Jamf Protectの機能を実際に体験してみたい方は、ぜひ**トライアル**にお申し込みください。または、お近くの販売代理店までお問い合わせください。